

(書式3)

全教科についての指導方法の課題分析と授業改善策

教科名	英 語	
-----	-----	--

1. 指導方法の課題と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

<第1学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・初期の英語活動を中心に行っていて、積極的に活動をしている生徒が多い中、文字が発音できない生徒もいる。・発音のできない生徒は文字を書くことにも苦慮している。・ペア・グループワークを実施し、互いに助け合い、協同学習を通して、自信をもたせていくことが課題である。	<ul style="list-style-type: none">・単語の発音と文字が連動できるよう視覚的な教材も用いて定着を図っていく。・ノートの作り方を工夫させ、文字が正確に書けるようにさせる。・協同学習を通して、コミュニケーション活動の充実と助け合うことにより、自信をつけさせていけるように授業の改善を図っていく。	<ul style="list-style-type: none">・クラス・ペアーリーディングを補充的に行い、発音の向上と、文字と発音の連動をさせていく。・夏季補充教室を実施する。・長期休業中に英文絵日記を作成し、発展的な表現力を身に付けさせていく。

<第2学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・英語への苦手意識をもっていない生徒と持っている生徒の二極化が進んでおり、同時に学力も二極化している。・英語を使った会話を積極的に取り組む姿勢を継続させつつ、「書く」力を定着させる必要がある。・家庭学習の定着を図る必要もある。	<ul style="list-style-type: none">・生徒の苦手意識を軽減するためにペアやグループ学習を取り入れ、自信をもって英語を使えるようにする。・文法事項は4技能それぞれの繰り返し活動を通して定着を図る。・会話などで話した言葉を書くというスパイラルな活動を継続する。・辞書などを使って自主的に学習する環境をつくる。	<ul style="list-style-type: none">・夏の補充教室を実施する。・英作文やスピーチ、英語の歌、スキットなどを通して自己表現ができる活動をさらに取り入れ、特に話す、書く活動に重点を置く。

<第3学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">・初歩的な英語を使ってのコミュニケーション活動の取組には興味を示す生徒が多い。・英文を使って表現する力もあるが、正確性に欠ける生徒がいる。・英文の構造を理解させ、定着を図っていく必要がある。	<ul style="list-style-type: none">・英語を使って伸び伸びと活動することはできているが、英文の表現活動の正確さが欠けているため、英文の構造を繰り返し復習する。・反復練習とコミュニケーション活動、自己表現活動を組み合わせて生徒同士で正確にできるよう改善を図る。	<ul style="list-style-type: none">・SV/SVO/SVCといった基本的な構造を補充的に繰り返す。・夏季補充教室を実施する。・長文読解、スピーチ等による発表を発展的に行い、英語力向上につなげていく。